

ひゅうが上下水道かわら版

冬の備えは水道管から

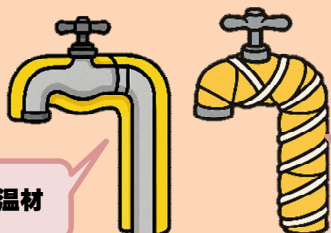
こんな時は凍結に注意！

水道管は気温が -4°C 以下で凍結しやすく、
風当たりの強い場所や屋外北側の日が当たらない露出した管は -1°C ～ -2°C でも凍ることがあります。

凍結すると水が出なくなったり、管が破損して
修理が必要になることがあります。



～対策～



ビニール
毛布や
布など

じゃ口、水道メーター、給湯器などの露出した管は、発泡スチロール製などの保温材や、布類で覆って保温します。
保温材は、ホームセンター等で販売されています。

長期間不在にする場合は、水道の元栓（止水栓）を閉めましょう。

不在の間、水道管が凍結破損した場合に漏水を防ぐことができます。

～もし、水道管が凍結・破裂したら～

凍結したら・・・

●水道管や水道メーターに直接**熱湯**をかけると破損する場合があります。水道管を覆っている保温材を外して、タオルなどをあてて**ぬるま湯**をかけます。

凍ったじゃ口にも、タオルなどをあててぬるま湯をかけます。



破裂したら・・・

- あわてずに元栓（止水栓）を閉めます。
- 日向市水道事業指定給水装置工事事業者（市ホームページ参照）または日向管工事協同組合〔0982-52-2556〕に修理を依頼しましょう。

凍結の恐れがないときは、保温材を外して
スムーズな検針が出来るようご協力ください



↑メーターボックス